

神戸市立小磯記念美術館

もももも

2018年8月25日(土)開催

対象：小学生以上 / 大人も可

参加者数：

第1回目(10:30): 18名

第2回目(13:30): 18名

第3回目(15:30): 15名

みんなのワークショップ

ことりのブローチ

魅力的なモチーフが満載の展覧会「浜口陽三と南桂子展 ー不思議な世界への小さな窓ー」の開催に合わせ、大人も子供も一緒に参加できるワークショップを開催しました。本展覧会から、南桂子の作品にたびたび登場する「ことり」をモチーフにした、思い思いにカラフルなブローチを作成しました。人気の企画のため、1日3回に分けて実施しました。

作業の説明



まずは、本日の流れ、作り方、注意点などを、スタッフから説明します。
…と言っても、作り方は、本当に、かんたん！！
ペンを塗って、次の色を重ねる時はしばらく置いて、しっかり乾かしてから。
ルールはそれくらい。
あとは、自由に、自分だけのことりに仕上げてください。



こうで使った、材料と道具はこうで
くうらばなし



皆さんが色を塗ってブローチを作成した、ことりの形。これは、樹脂粘土を、型抜きクッキーを作る要領で、美術館のスタッフたちが手作りしたものです。麺棒で薄く伸ばし、型で抜いて、よく乾燥させて、このような形状に。でも、南桂子さんの作品に出てくる小鳥と同じ形のクッキー型があったのでしょうか？

答えはNO！
南桂子さんの小鳥に合わせて、金属の板を少しずつ曲げて作った、これもスタッフの手作り品でした。

色をのせていったペンは、瀬戸物やガラスなどにも描く事ができる特殊なペンです。乾くまで少し時間がかかりますが、しっかり乾くと、濡れても落ちません。

さっそく塗りましょう！

大人も子供も、みなさん真剣！



自分だけの
小鳥がうまれます



仕上げに...

塗料が完全に乾いたら、後ろにピンをつけて、完成！！



ブローチは、
胸元につけたり、鞆などにつけてもかわいいですね。
オススメは、マフラーやスカーフの留め具として。
ぜひつけてほしいです。



かわいい!

皆さんの作品たち

それぞれ個性的で、本当にかわいいですね♪



はばたけ!